

劇演出以前に

長尾豊

一

兒童の劇の指導とひと口に言つてゐる中には、普通に劇化とか、脚本のつくり方と言はれてゐる簡単な戯曲形の書き方も含まれて居れば、それを演出して見る演出考案の指導や、書いたものが演ぜられるやうに考へられた上で、さて其の人をさめて實際に動いて見るいはゆる演技（アクティヴ）の指導一切にまで及んでゐる。つまりひと口に劇の指導といふ中には簡単な戯曲創作の指導と演出考案の指導と、又其の演技指導の三つが含まれてゐる。否含まれて居なければならぬ。何となれば此の三つは別々なものではなくして、それ

く相關連してゐるからである。

脚本を書くといふやうな事が、獨立して考へられるのは大人の場合で、兒童にはたと脚本だけを引離して書かせる事は困難である。ごく短い對話體のものであれば、指導如何によつては、尋常二三年の兒童でも容易に面白いものを書き得るが、それとてもお話あそび、唱歌あそびといふやうな劇ごつこ、戯曲遊戲を通じて置いた方が更に容易である。なんらの準備なしに脚本體戯曲形のもが書き得ないのは、子供も大人も大して變りはない。其の準備なしに強ひて書けばおそらくそれは脚本體にも戯曲形にも成り得ないであらう。

紙の上の劇を板の上の劇に反譯する演出考案といふものは、ちやうど歌詞に於ける作曲編曲のやうなもので、書いたものが演ぜられるまでは、一遍それを通らなければならぬ。そしてその先きにまだ演技の指導がある。これをひと口に劇の指導と呼んでゐるが、分けて見れば先づ此の三つの方面がある事になる。指導者が指導し得る力を養ふには、三つの方面に分けて考へ、それと相関連してゐる所を見て調べれば便宜も多いが、併し實際を言ふとかう都合好く三つに區別する事も出来なければ、特に幼児の場合にあつては、創作、演出、演技といふ其の順序さへも立てられない。それが此の三つの方面を判然見究める事も出来なければ、第一そんなものゝある事さへ心附かずに今まで只ひと口に劇の指導と言馴らされて來た所以であるらしく思はれる。

二

大人は劇を見たり、戯曲を讀むことからでも脚本體のものを書く事も出来よう。けれども兒童の場合にはそれが困難であり、幼児の場合には絶対に不可能でさへある。兒童に見せるための劇といふものは、今日まだ何所にもないと言つて差支ない所でどうしても演ずる事によつて劇の何であるか、劇的とはどんな事かを味はせなければならぬのであるが、それも書かれた脚本を持つて來て、幼児にセリフの誦讀を課し、指定の動作を強ひ、合はせて實演公表を迫るやうな事では、その目的は達せられない。

兒童の生活の中に、その生活である遊戯の中に劇的分子が含まれてゐる。多くの劇的要素が含まれてゐるのである。兒童は生れながらのアクターであるとか、子供は本來演劇的なものであるとか言はれるのは、皆そのためであると思ふ。すると本來劇的であり、劇的なものを内に十分もつてゐる

る兒童に向つて、外から大人が考へた劇らしいもの劇に似たやうなことを持つていつて、これに加へてはならないのだと思はれる。

一足飛びの劇演出以前、多くの戯曲遊戯、劇あそびが遊べるわけである。此の豫備行動とも基本演習とも言ふべきものを通らずに、出しぬげに劇演出を試みようとするれば、果してそこに演ぜられたものが、ほんたうに兒童の劇であるかどうかも保證されない事にならう。

劇の虚名に惑はされて、遊戯であることを嫌ひ何でもかでも劇として押通さうとした一部性急な人達は、當然の報償として劇でもなければ、又劇的遊戯でもないものを擱んで、劇をそこなひ兒童をそこなひ、不用意不せんさくな焦燥努力の結果只徒らに自らの不明をあらはしただけで終つた。

三

兒童の劇演出は、多くの批難や偏見にも撓むこ

となく、今日なほ行はれてゐる。これを一時流行の餘焰、所々にその殘端をたもつてゐるものと見ることは出来ない。今後益々さかんになるとも、おそらく衰へる時はなからうと思ふ。けれども問題はそのさかんになると、衰へるとになくして、これを如何に取扱ふべきかにある。流行に驅られ新奇を追つて有頂天になるのが賢明でないと同様に、世の一切の風潮に耳目を塞いで、われひとり覺めたりといふ顔をしてゐるのもあんまり衰めた話ではない。世界の兒童劇運動といふものに對して、どんな態度をとるべきか、しつかり極めて置くのも、教育者としてのひとつの修養であらうと思ふ。

兒童劇の運動といふものは、言ふまでもなくひとつの教育運動である。たとへ新奇を追ひ、流行に驅られた一部の人々が、似て非なることをするの急で、兒童を忘れるやうな事があつても、す

べてがさうであつたとは考へられない。中には自己陶醉や賣名宣傳の具に使はれたものもあらうが、その多くは無自覺無理解の結果、悲しむべき破綻を見せたのではなからうか。

劇を兒童畫や童謡と、圖畫や唱歌と對立させて考へる人はあるが、兒童の生活である歌謡や話と並べて考へる人は少ない。並べて考へる人があるとしても、これを結び附けて考へる人は更に少ない。兒童の劇の正體が容易に掴まらなかつたのも、その生活である歌や話と關連して取扱はなかつたからではあるまいか。

思へば一足飛びの劇演出以前に爲すべきことは多々あつた。それを乗越して行き過ぎた劇が、始めからの無理として破綻を生じ、批難を招き、今日あるやうな多くのふしぎな兒童劇と成つたのも、けだし行き着く所へ行き着いたかの觀がある。

レコード豫約募集

我が國幼稚園に於て最初に採用せられたる唱歌をレコードにいたしました。吹込者は我が國第一回の保姆たる氏原銀子、膳眞規子兩先生であります。日本蓄音器商會製作のレコードであります。兩面一枚金貳圓の豫定であります。購入希望の方は豫め東京女子高等師範學校附屬幼稚園内本會事務所に御申込下さい。

昭和三年十二月五日

日本幼稚園協會